

コロナ差別撲滅に向けてのメッセージ
～香川県 PTA 連絡協議会から保護者の皆さまへ～

香川県 PTA 連絡協議会 会長 吉田誉範

令和 2 年 1 月に日本で初めて新型コロナウイルスへの感染者が確認されたとの報道を聞いた時は、どこか人ごとのような感覚でしたが、間もなく 3 月より全国的な臨時休校が行われたことで、新型コロナウイルス感染症が急に身近な存在となり“自分ごと”だと意識するようになりました。以来、新型コロナウイルス感染症は何度も感染急拡大の波を繰り返しており、新規感染者数の人数に一喜一憂する日々は未だ出口が見えておりません。さらに若年者にも感染しやすいといわれる変異株が出現しているようで、依然として予断を許さない状況が続いています。

このような状況の中で県内の小中学校をはじめ教育現場では、「学校における感染症予防ガイドライン」に沿って感染対策に努めていると聞いています。

新型コロナウイルス感染症を恐れる気持ちは誰もが持っていると思いますが、恐れのパクトルが間違った方向に向かうと、いわゆる“コロナ差別”や“コロナいじめ”と言われる偏見や差別を生み出します。私たち香川県 PTA 連絡協議会ではコロナ差別を撲滅するために、保護者の皆さまに以下 4 項目についてお願いしたいと思います。

1. 新型コロナウイルス感染症にかからないために、感染を拡大させないために咳エチケットや手洗い、マスク着用などの実施、また人ごみを避けるなどの生活習慣を家庭で身につけましょう。
2. 新型コロナウイルス感染症に感染された方々やそのご家族、クラスターが発生した施設や店舗、医療に従事されている方やそのご家族などが、SNS 上の情報やうわさ話などにより、差別的な扱いを受けています。不当な差別や偏見を生み出さないように、情報リテラシーを高めるとともに、ご家庭での会話においても十分ご留意をいただきたいと思います。
3. マスク着用や手指のアルコール消毒は感染予防にとっても大切ですが、知覚過敏やアレルギーまた長時間の着用でのかぶれなどで、使用できない人もいます。同様にワクチン接種も進んでおりますが、ワクチン接種の有無による偏見や差別も懸念されます。やりたくてもできない人がいることも知り、正しい人権意識を身につけましょう。
4. 新型コロナウイルス感染症の感染状況や対処方法は、正確で最新の情報を正しいルートから入手しましょう。ウイルスは変異します。私たちの情報も最新のものにアップデートしていきましょう。

香川県 HP : <https://www.pref.kagawa.lg.jp/index.html>

厚生労働省 HP: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html